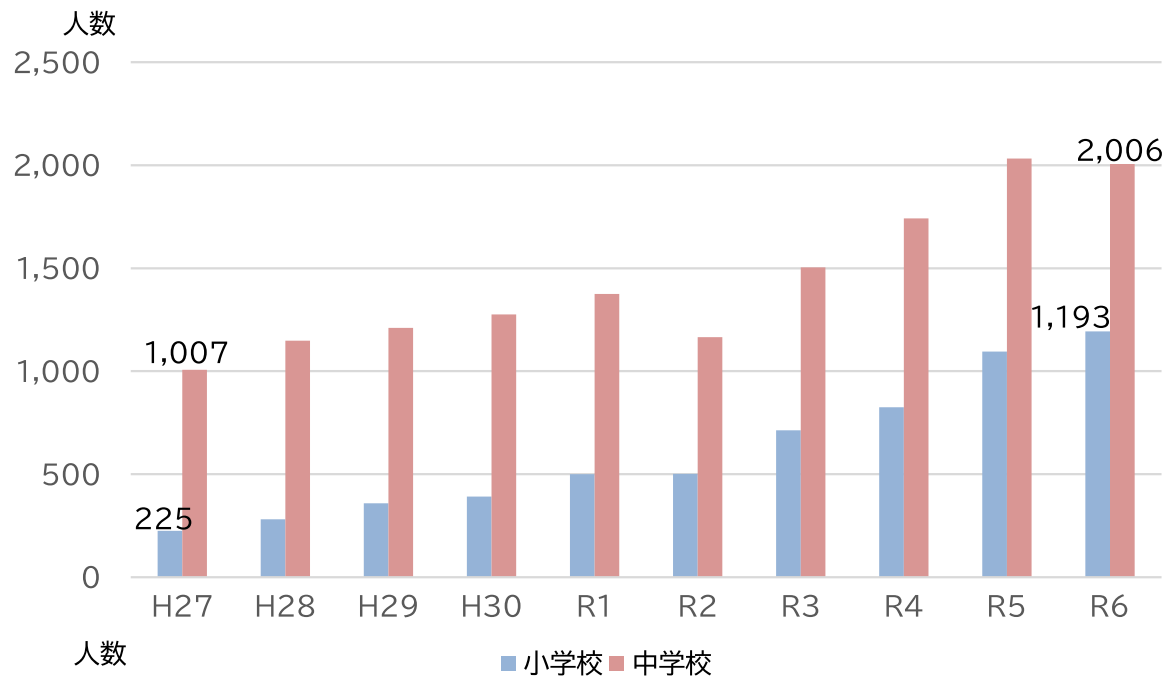


学びの多様化学校について

多様な学び支援課
学びの多様化学校設置準備室

1 不登校児童生徒数の推移

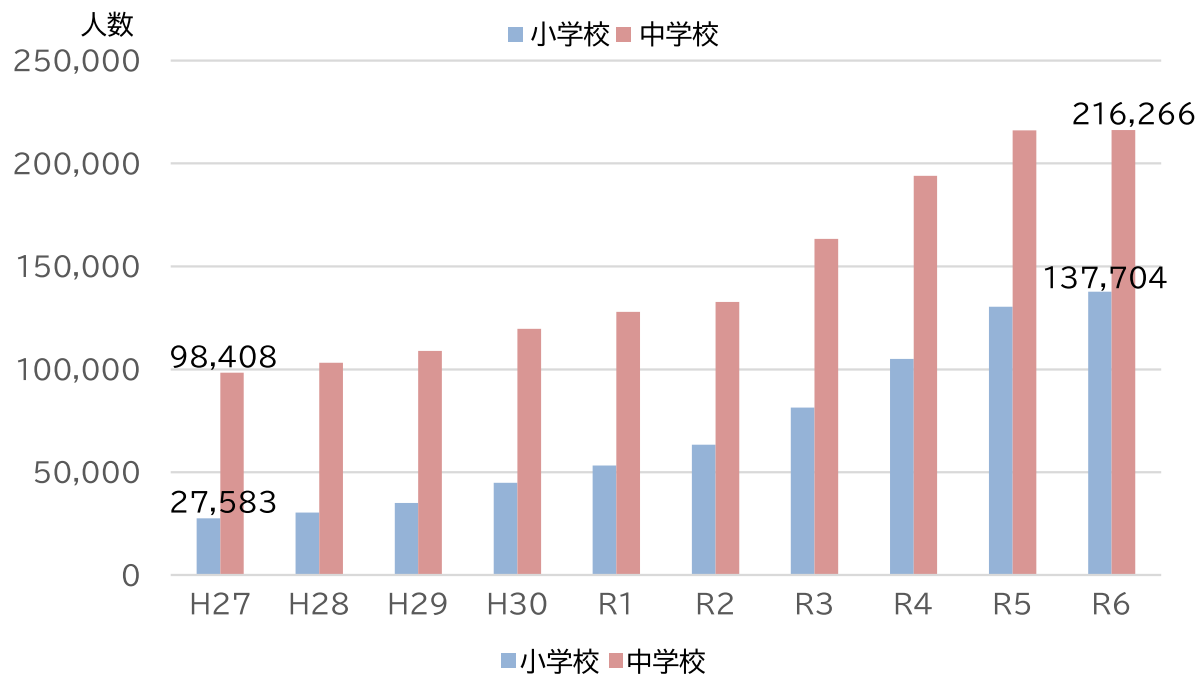
本市



不登校児童生徒の増加に伴い、ニーズが多様化してきている



全国



こどもたち一人ひとりが自らに合った学びの場を選ぶことができるよう、多様な学びの場や機会を確保する必要がある。

2 学びの多様化学校の概要

「学びの多様化学校」は、文部科学大臣の指定を受けて、教育課程の基準によらず、不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を行うことができる学校である。

(1) 沿革

平成14年	構造改革特別区域法の制定により、「 不登校特例校 」として 教育課程の弾力化が可能 となる。
平成16年	全国初の不登校特例校が開校。
平成17年	学校教育法施行規則の改正により、文部科学大臣の指定により設置可能となる。
平成28年	「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法)」の制定により、努力義務化された。
令和5年	●「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」を踏まえ、「学びの多様化学校」に名称を変更した。 ●教育振興基本計画において、全ての都道府県・政令指定都市に、将来的には希望する児童生徒が居住地によらず通えるよう、「学びの多様化学校」を全国300校の設置を目指すこととしている。



※「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」表紙
(出典：文部科学省ホームページ)

2 学びの多様化学校の概要

(2) 対象となる児童生徒の想定範囲

学びの多様化学校の対象となる児童生徒については、主に以下の2通りが想定されており、入学希望の児童生徒が対象となるかについては、当該学校等において、個別に判断することとなっている。

- 不登校状態である児童生徒
- 不登校傾向がみられる児童生徒

(3) 設置形態

学校型	学校全体が「 <u>学びの多様化学校</u> 」として <u>独立して設置</u> するもの。新築のほか、廃校などの学校設備を活用するケースもある。
分校型	<u>既存の学校(本校)と分離して、分校として設置</u> するもの。
分教室型	一般的な小・中学校内や別の場所に、一部の学級を「学びの多様化学校」として設置するもの。
コース指定型	高等学校等において、一部のコースを「学びの多様化学校」として指定するもの。

2 学びの多様化学校の概要

(4) 特別な教育課程

特別な教育課程は、当該学校に通う児童生徒の社会的自立に向けて、その実態や地域性等、様々な状況を鑑みて検討されるものとされている。

①総授業時数の削減

【例】年間の総授業時数を1,015時間から800時間に削減する。

②授業時数の組み換え

【例】A教科を削減し削減分をB教科に補填する。

③授業内容の異学年への移行

【例】第1学年及び第2学年のA教科の学習内容の一部を第3学年に移行する。

④1単位時間当たりの授業時間の短縮

【例】1時間当たりの授業時間を、50分から45分にする。

⑤新教科の新設

【例】学習指導要領にない、特色ある教科を新設する。

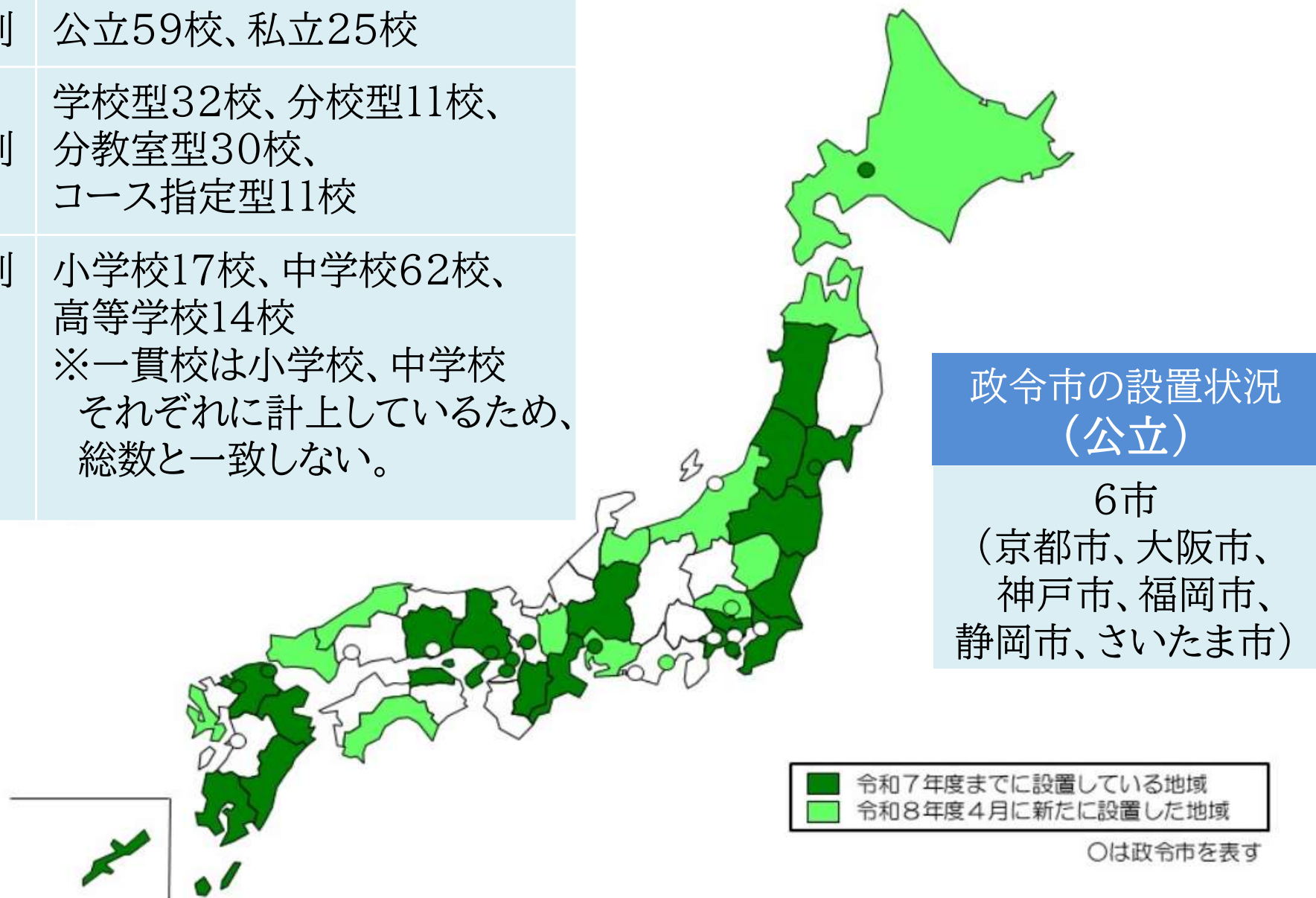
⑥その他

- 登下校時間の調整
- オンライン学習の活用
- 独自の評価方法
(レポートの提出等)

3 全国の設置状況

令和8年4月現在で、全国に84校設置されている。

公私別	公立59校、私立25校
設置 形態別	学校型32校、分校型11校、 分教室型30校、 コース指定型11校
校種別	小学校17校、中学校62校、 高等学校14校 ※一貫校は小学校、中学校 それぞれに計上しているため、 総数と一致しない。

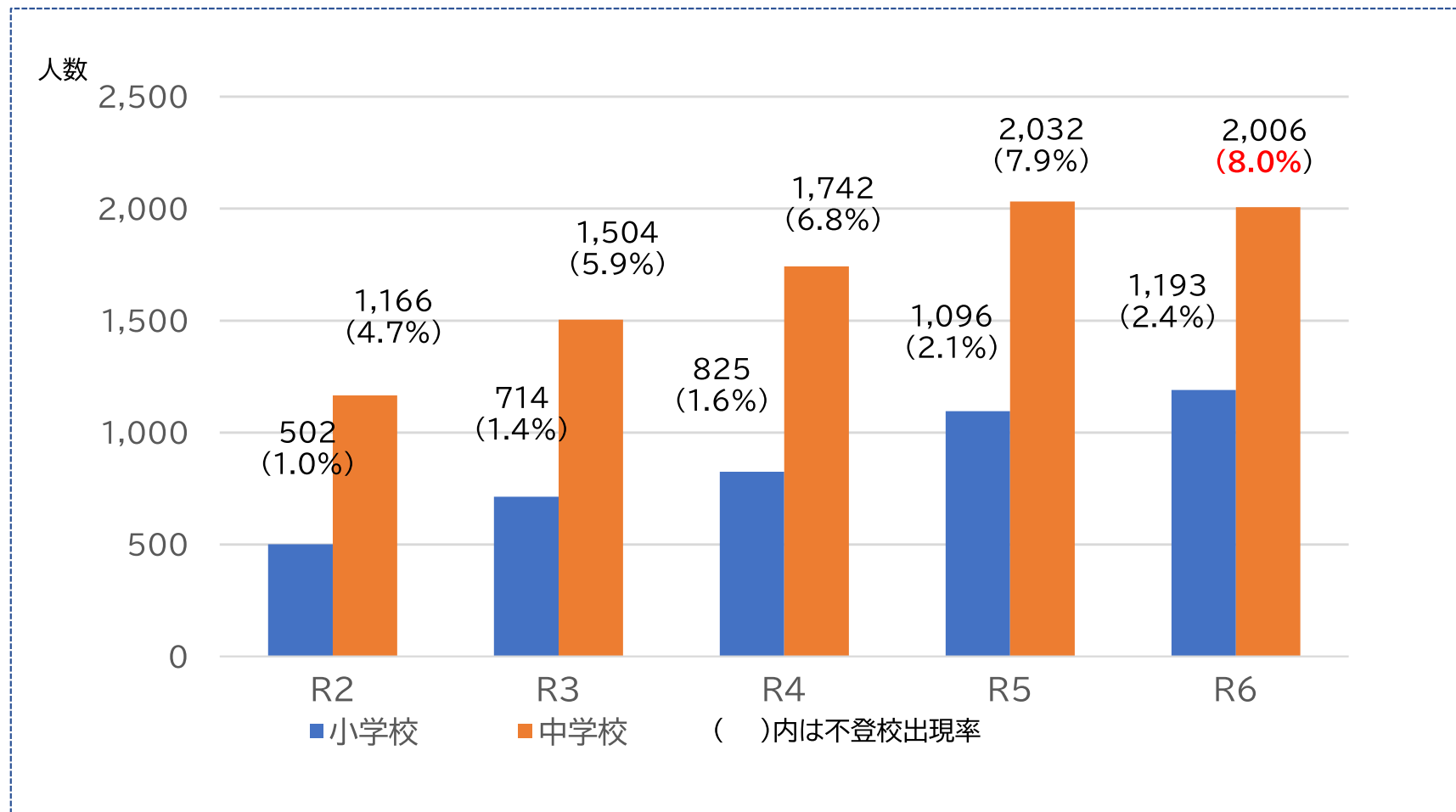


4 宮城県の設置状況

形態	学校名	設置場所	教育課程の主な内容
学校型	ろりぽっぷ学園小学校 【令和5年4月開校】 在籍生徒数:20～30名	仙台市 【旧坪沼小学校校舎 利活用】	● 一人一人の学習進度に合わせた学習を行う時間を充実させつつ、協働的な学びの時間を確保することで、個別最適化した学びを提供しつつ、コミュニケーション能力の向上を目指す。
学校型	白石市立白石南小学校 ・白石南中学校 (通称:白石きぼう学園) 【令和5年4月開校】 在籍生徒数:30～40名	白石市 【旧白石市立南中学校 利活用】	● 個々の「学び残し」や「つまづき」について重点的に指導を行う「白石タイム」や自らの得意や興味・関心に基づいて課題を設定し、探究的に学ぶ「夢スタジオ」を教科として新設し、学習に関する不安を取り除くとともに、社会性の育成・向上を目指す。
分教室型	富谷市立富谷中学校 (分教室名:西成田教室) 【令和4年4月開設】 在籍生徒数:10～20名	富谷市 【旧西成田小学校の校舎を活用している「西成田コミュニティセンター」内に設置】	● 不登校生徒が自らのテーマを設定し、探究的な学習ができるよう、総合的な学習の時間の充実を図り、自分が興味ある分野を追究し、生徒同士で発表し合うことで、自己肯定感や信頼感を高める。

5 不登校児童生徒へのさらなる支援

仙台市における不登校児童生徒数の推移(R2～R6)



仙台市として**中学生対象の「学びの多様化学校」**の設置